

新県立図書館基本計画策定事業【新規】

予算額 15,000千円

1 事業の目的・概要

1月に策定した千葉県立図書館基本構想において、中央図書館（千葉市）・西部図書館（松戸市）・東部図書館（旭市）の県立図書館3館については、県立図書館機能の向上を図るため1館に機能集約した上で、老朽化の進んだ中央図書館に替わる新たな県立図書館を整備することとしました。

本事業では、新たな県立図書館の整備にあたり、今後の設計・工事を進める上で必要となる基本計画を策定します。



中央図書館（千葉市中央区）

2 事業内容

新たな県立図書館が、基本構想に掲げた県立図書館としての機能を最大限発揮でき、環境対策やライフサイクルコストを意識した建築物とするため、民間コンサルタントの専門的な能力を活用し、有識者（大学教授、建築家等）の意見や、県民の声を反映した基本計画を策定します。

【基本計画の検討内容】

- 利便性・機能性・環境に配慮し、新たな県立図書館に必要な機能、規模、デザイン等を設定するため、図書館等類似施設の整備事例を収集した上で、施設のイメージや立地条件、計画条件（規模、用途、管理、運営等）、建設事業工程、概算事業費等について検討します。
- 3館から1館に集約する上での蔵書等の搬送作業に伴うスケジュールや、新たな資料搬送ルート の模索等の課題を整理します。

3 千葉県立図書館基本構想の概要

○県立図書館の現状と課題

市町村及び学校図書館への支援、書庫の狭隘化、中央図書館の老朽化と耐震不足 等

○今後の県立図書館に必要な役割と機能

県内図書館の中核的な役割、子どもの読書活動の推進、千葉県に関する資料等の蓄積、継承 等

○施設整備の方向性

新たな県立図書館は県中央部へ立地、資料や司書の集約によるサービス向上・機能強化、施設の集約による業務の効率化とコスト削減 等

【担当課・問い合わせ先】 教育庁教育振興部生涯学習課 043-223-4168



外来種特別対策事業【一部新規】

予算額 106,662千円 (H29 100,750千円)

1 事業の目的・概要

特定外来生物のうち、生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれがあり、特に対策が必要なキョン、アカゲザル、カミツキガメ、アライグマ等について、生息数の減少を目指し、生息状況調査や計画的な防除を実施します。

2 主な事業内容

○キョン【一部新規】 17,966千円 (H29 14,800千円)

生息数の多い地域に加え、分布の外縁部においても捕獲を強化することで、分布の拡大を防止するとともに、専門的知識を有するコーディネーターを新たに配置し、対策を強化します。

また、生息数調査やGPS発信機を用いた行動調査などの生態等の調査を行います。

〔防除実施地域〕 夷隅地域及びその周辺地域、分布の外縁部

○アカゲザル 49,469千円 (H29 47,000千円)

ニホンザルの地域個体群の保護及び農業被害等の防止のため、アカゲザルを捕獲します。

これまでの生息状況調査の結果、新たに行動範囲が把握できた群れの捕獲を行うため、大型囲いわなを増設します。

〔防除実施地域〕 房総半島南部

○カミツキガメ 34,050千円 (H29 34,940千円)

「カミツキガメの根絶に向けた基本戦略」のロードマップを踏まえ、30年度は農業用水路における秋冬期間の捕獲を実施するとともに、わなの設置個所を増やして捕獲を強化します。

また、発信機を用いた行動調査等により生態を明らかにし、効果的な捕獲方法について検討します。

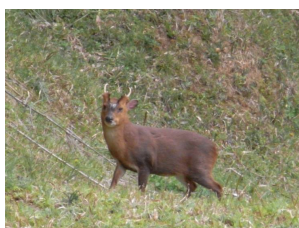
〔防除実施地域〕 印旛沼水系

○アライグマ 4,977千円 (H29 4,010千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、アライグマ防除に関する普及啓発、捕獲技術向上のため講習会等を開催します。

〔防除実施地域〕 県内全域

キョン



アカゲザル
(池田文隆氏撮影)



カミツキガメ



アライグマ



担当課・問い合わせ先

環境生活部自然保護課 043-223-2975

オリンピック・パラリンピック普及・教育推進事業

予算額 37,600千円 (H29 37,556千円)

1 事業の目的・概要

本県開催のオリンピック競技（フェンシング、サーフィン、テコンドー、レスリング）及びパラリンピック競技（ゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング）について、県民の理解を深めるとともに、競技人口の増加を図るため、体験イベント等を開催します。

また、2020年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において、JOCオリンピック教室を開催します。

2 事業の内容

(1) 本県開催競技の普及・振興イベント実施 35,460千円

県民の日行事（中央・地域）において、体験会や普及イベントを開催するとともに、大会開催に向けた機運の醸成を図るため、大会2年前イベントを実施します。

また、関係競技団体と連携し、競技普及の担い手育成を目的とした研修会などを実施するほか、市町村が主催するスポーツイベント等において、県内開催競技の体験会やスポーツ教室を開催します。



県民の日行事での体験会・普及イベント



県内大学でのシッティングバレーボール研修・体験会

(2) JOCオリンピック教室の実施 2,140千円

オリンピック出場経験アスリート（オリンピック）が教師役となり、自身の様々な経験を通してオリンピックの価値等を伝える授業を行います。



県内中学校でのJOCオリンピック教室

担当課・問い合わせ先

総合企画部東京オリンピック・パラリンピック推進課

043-223-2434

東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

予算額 115,000千円 (H29 115,000千円)

1 事業の目的・概要

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに、本県選手を1人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手の競技力を強化する取組に対して助成するとともに、障害者競技組織の体制整備や障害者アスリートを強化する取組へ助成します。

2 事業内容

(1) 対象

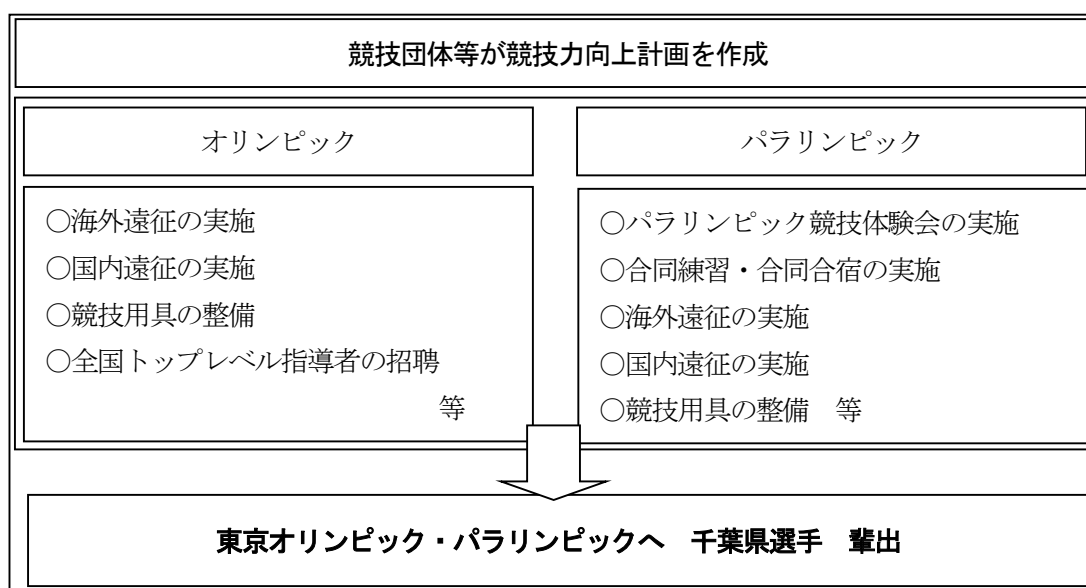
- ・東京オリンピック実施33競技のジュニア世代選抜選手（平成30年度：16歳から26歳）
- ・東京パラリンピック実施22競技の選抜選手（平成30年度：12歳以上）

(2) 強化期間

2014年（平成26年）～2018年（平成30年）：5年間

(3) 実施内容

競技力向上計画に基づく下記の取組に対して助成 補助率 10/10～1/2



担当課・問い合わせ先

教育庁教育振興部体育課 043-223-4101

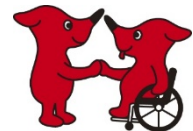
健康福祉部障害者福祉推進課 043-223-2340

特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業【新規】

予算額 12,000千円

1 事業の目的・概要

特別支援学校を地域における障害者スポーツの振興の拠点と位置付け、特別支援学校の児童生徒にとって障害者スポーツをより身近なものにします。また、スポーツを通じた地域との交流を推進していくことにより、障害のある人の社会参加や障害に対する理解を深めるなど、共生社会の形成を図っていきます。



2 事業内容

1 特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発 7,543千円

(1) 障害者スポーツへの理解推進・意欲醸成 1,185千円

特別支援学校スポーツ大会等において、アスリートによる模範プレイの披露等を行うことで、児童生徒の障害者スポーツへの理解を深め、意欲の醸成を図ります。



(2) スポーツ競技用具の整備 6,106千円

全ての県立特別支援学校にボッチャ等の障害者スポーツ競技用具を整備し、児童生徒がスポーツに取り組みやすい環境を整備します。



(3) 教職員を対象とした講習 252千円

障害者スポーツの競技ルールや用具の使用方法的等、特別支援学校の教職員が指導員等から学ぶ講習会を開催します。

2 地域の小・中学校等との交流及び共同学習 4,457千円

(1) 障害者アスリートによる講演や実技披露 3,057千円

特別支援学校で開催する文化祭等で、アスリートによる講演や実技披露を行い、地域住民等に向けて、障害者スポーツへの理解の推進を図ります。

(2) 特別支援学校の教職員・児童生徒と地域の小・中学校等との交流 1,400千円

小・中学校等の児童生徒が、地域の特別支援学校の教職員・児童生徒から障害者スポーツについて学びながら、障害者への理解を深めることを目指します。



担当課・問い合わせ先

教育庁教育振興部特別支援教育課
043-223-4051



障害者スポーツ振興事業【一部新規】

予算額 19,000千円 (H29 1,360千円)

1 事業の目的・概要

障害者スポーツの理解促進を図るとともに、障害のある人が県内のすべての地域でスポーツに親しめる環境の拡充を図ります。

2 事業内容

(1) 障害者スポーツ交流大会【新規】 3,400千円

企業チームと障害のある人のチーム等が交流試合を実施し、障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図ります。

(2) 障害者スポーツ施設利用促進講座【新規】 100千円

県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、障害のある人が地域でスポーツできる場を創出します。

(3) 障害者スポーツ指導者養成 1,875千円

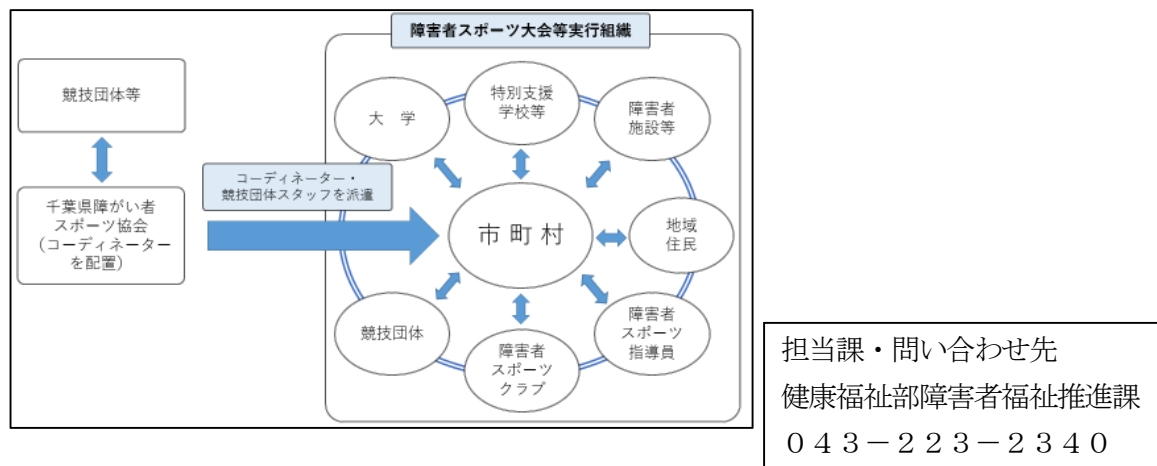
障害者スポーツ指導員の研修会を拡充し、障害者スポーツの指導者の養成を図ります。障害のある人が気軽に、どこでも障害者スポーツの指導を受けることができるような環境を整備します。

(4) 障害者スポーツ用具貸出 4,425千円

貸出用の障害者スポーツ用具を充実させることにより、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるようにします。

(5) 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣【新規】 9,200千円

県内にコーディネーターを派遣し、市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取り組むように促します。



総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業

予算額 381,800千円 (H29 70,000千円)

(債務負担行為 571,000千円)

1 事業の目的・概要

老朽化し、耐震性の不足する総合スポーツセンター野球場について、耐震改修等を行うとともに、施設機能を充実させるために必要な改修を行います。

2 事業内容

建設工事、工事監理、家屋調査等 381,800千円

(債務負担行為：建設工事、工事監理 571,000千円)

3 整備内容

耐震改修、老朽化対応等改修、両翼・センターの延伸、観客席改修、スコアボードLED化、障害者対応 等

平成28年度～平成31年度

平成28年度 基本設計



平成29年度 実施設計



平成30～31年度 工事

平成32年度 供用開始

野球場の現状



[施設概要]

構造：鉄筋コンクリート造2階（昭和43年築）

延床面積：3,575㎡、敷地面積23,400㎡（両翼92m中堅120m）

収容人員：27,000名

担当課・問い合わせ先

教育庁教育振興部体育課

043-223-4106

障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業

予算額 47,000千円

1 事業の目的・概要

障害者スポーツ・レクリエーションセンターの老朽化等により劣化が進んでいる箇所について、利用者の安全確保及び老朽化対策のため、体育室の床の改修及びバスケットゴール交換工事を行います。

2 事業内容

- ・体育室床全面張り替え工事 36,400千円
老朽化等により体育室の床にゆがみや傷が発生しているため、床全面を張り替えます。
- ・バスケットゴール交換工事 9,300千円
バスケットゴールが老朽化しているため、交換工事を行います。
- ・その他老朽化箇所の修繕等 1,300千円
その他、老朽化により必要な箇所を修繕します。

(参考) 障害者スポーツ・レクリエーションセンターについて

(1) 設置目的

障害者のスポーツレクリエーション活動及び文化活動の普及を図ることにより障害者の自立及び社会参加の促進に資することを目的としています。

(2) 施設概要

- ア 敷地面積 5897.5㎡
- イ 建築面積 1496.0㎡
- ウ 施設 体育室、多目的室、音楽室、教養文化室

(3) 利用料

障害のある人又は障害のある人の自立を支援する者は無料



担当課・問い合わせ先
健康福祉部障害者福祉推進課
043-223-2340